

「翔んで埼玉だけじゃない！ 通行手形無しで行ける魅力あふれる川口、さいたまレポート」

岩本 眞吾

映画に知事選、ムーミンと何かと最近お騒がせな埼玉県のホットな情報をお届けします。

映画やコミックで話のネタになった東京へ行くための手形が、JRの駅などで期間限定にて発売されていたとか。

<http://soudasaitama.com/sightseeing/33015.html>

初めに、そんな話題に事欠かない埼玉県で、話題沸騰中の中華街をご紹介します。

去る8月29日、友達や家族を誘っても誰も行きたがらない西川口駅西口の中華街へ行ってきました。錦糸町から40分足らずで行けるのですが。

連れは学生時代の友人で、さいたま市職員。彼も西口は初めてだそうです。

この町は以前から歓楽街として名を馳せていました。今でもかなり残っており、難民申請の認められないクルド人がソープランドで働いていたりするそうです。

ところが公営住宅に中国人の方々が大量して住むようになり、団地によっては半分くらい中国の方というところもあるそうです。そして彼らが始めた商売が中華料理店。それも中国人相手の。というわけで店にはダックの頭部分になる鴨頭やらなにやらあまり横浜中華街で見かけないものがあつたりします。

情けないことに2人とも辛いのが苦手なため、四川はちょっとなあ、福建料理あたりに狙いを付けて行きましたが生憎の定休日。結局東北・四川料理・西安刀削麺の「天下鮮」というお店に入りました。

ほうれん草とピーナッツ和えを肴にまずは生ビール



四川料理・西安刀削麺の「天下鮮」

で乾杯。初めはそんなに辛くはありませんでしたが、徐々に唇がひりひりしてきます。よく見るとニンニク、唐辛子が入っていて、汁がラー油色。でも、味は美味しかったです。

お客さんは8組ほどで、日本人は2組のみ。中国語が飛び交っています。

焼き餃子と酢豚。これは当たり前ですが辛くは無く、とても美味しくいただきました。ビールも2杯目突入。餃子はぷりぷり。白菜の餃子を注文したので、野菜がたっぷりと入っています。タレはラー油無しで(汗)。酢豚は甘めの味付け。ころころとした肉がいっぱいで、あとは玉ねぎ・人参・ピーマン。お子様でも安心して食べられます。俺たちいい年してお子ちゃまか(笑)。

本場は水餃子だろうということでこちらも注文。大きめでぷりぷりしています。出されたタレがまたもやラー油色。辛さはそこそこなので安心していただけます。ビールは3杯目。

もうお腹がいっぱいでしたが、刀削麺の店なのでこれを食べずには帰れないと私は酸辣刀削麺、彼は冷やし刀削麺。2人共辛くなさそうなものを選んだつもりでしたが、結構辛くビールや水を飲みながらヒーヒー言って食べました。汗は顔から噴き出してきますし、唇はヒリヒリしますし、涙も鼻水も出てきました。食べながら無意識に唐辛子を除けていきます。冷やし刀削麺にはまるごと1つなど、大きめのものが沢山入っています。酸辣にも1cm以下にカットされたものがこれでもか入っています。麺自体はどうということがなく、以前赤坂で食べた刀削麺のほうが歯ごたえもあり美味しかったです。

お勘定のときにおかみさんに刀削麺辛かった、という、辛さはお好みに合わせることが出来るとの事。

これだけ食べて飲んで2人で6千円ちょっと。散策して裏路地など入っては危険なところかもしれないので真っすぐ駅へ向かいます。

駅ビルの中でも中国人がスマホ片手に大声で話しています。にぎやかな街です。活気があります。今度は上海や福建料理のランチを食べに訪れてみたいものです。

ところで埼玉の昔からある名物と言えば意外にもウナギ。川越も有名ですが、さいたま市もウナギの名店が目白押し。南浦和駅からちょいと足を延ばして太田窪(ダイタクボ)あたりへ行くと庭の眺めが素晴らしい店に出会えます。「小島屋」(さいたま市南区太田窪2166)は、まさにそんなお店。

この地名にはいわれがあり、伝説の巨人ダイダラボッチというのがいて、その足跡が太田窪というわけ。このような話は日本各地にあり、足跡が湖になったとか言い伝えられている所もあるそうです。

また南浦和は交通の便が良く、武蔵浦和駅寄りにアパートを建てれば京浜東北線、埼京線、武蔵野線と使え、一つの線が不通になっても代替が利くので駅から徒歩17分ぐらいの場所でも部屋の空気が少ないとのこと。それと南浦和から京浜東北



鰻の蒲焼きの老舗、埼玉県南浦和の小島屋

出典：<https://www.unagi-kojimaya.jp/>

線の始発電車が出ているのも魅力。

川口あたりはちょっと、という方もここら辺は静かな住宅街であり、子育てにもよさそうです。

川口周辺は植木や盆栽好きの方には是非行っていただきたい。「川口BONSAI村」(川口市大字神戸1205)とか、「さいたま市大宮盆栽美術館」(さいたま市北区土呂町2-24-3)などがあります。

他にも植木屋さんが多数あります。「大崎公園」(さいたま市緑区大字大崎3170)には見本庭園という庭の見本があり、値段も記載してあります。



「川口BONSAI村」の盆栽

フルーツ狩りが好きな方は「フルーツパーク浦和組合」(さいたま市緑区間宮767)は如何でしょうか。梨やブドウ狩りが楽しめます。とても立派で甘いフルーツですよ。

気軽に行ける川口市とさいたま市、皆さんも是非行って見て食べてきて下さい。



フルーツパーク浦和組合

出典：<https://www.stib.jp/info/data/fruitpark.html>